

厚生労働省カリキュラム			全国地域生活支援ネットワークカリキュラム				
	科目名	内容		科目名	講義名	内容	
150	1 強度行動障害がある者の基本的理解	①強度行動障害とは	本研修の対象となる行動障害	1 強度行動障害がある者の基本的理解	講義 「プロローグ ～強度行動障害のある人についての基本的な理解～」 強度行動障害とは(1)	強度行動障害とは	
			強度行動障害支援の歴史的な流れ			強度行動障害のある人への支援のこれまで	
			強度行動障害の定義			強度行動障害のある人が困っていること	
			行動障害と家族の生活の理解			強度行動障害への挑戦の意義と必要性	
			危機管理・緊急時の対応			危機管理と緊急時の対応	
		知的障害／自閉症／精神障害とは	自閉症スペクトラム障害について				
②強度行動障害と医療	強度行動障害と精神科の診断	強度行動障害と医療的アプローチ	福祉と医療の連携	知的障害／精神障害について	行動障害と医学的な診断	行動障害と医療的アプローチ	福祉と医療の連携
	③強度行動障害と制度	自立支援給付と行動障害 / 他		2 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	講義 「支える仕組み～制度理解のヒント～」 強度行動障害と制度	行動障害のある人を支える制度	
		④構造化	構造化の考え方			講義 「ボくらと世界のつながり方～環境を整えることの大切さ～」 構造化	支援に必要な環境整備・環境調整
構造化の基本と手法	構造化の基本と手法						
構造化に基づく支援のアイデア							
⑤支援の基本的な枠組みと記録	支援の基本的な枠組み	支援の基本的なプロセス アセスメント票と支援の手順書の理解 記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ	講義 「みんなでやろうよ～チームプレイの大切さ～」 支援の基本的な枠組みと記録		支援の基本的枠組み		
	サービス等利用計画について～支援の基本的プロセス～				個別支援計画と支援手順書について		
	記録と情報共有			記録と情報共有			
	⑥虐待防止と身体拘束			虐待防止法と身体拘束について	講義 「その時あなたは どうしますか～虐待・身体拘束・行動制限の 予防は支援の向上から～」 虐待防止と身体拘束	障害者虐待防止法とは	
強度行動障害と虐待	行動障害と虐待						
⑦実践報告	児童期における支援の実際	成人期における支援の実際	講義 「支援の現場から～事例紹介～」 実践報告	虐待をしない・させないために			
	成人期における支援の実際			児童期における支援の実際			
60	1 基本的な情報収集と記録等の共有	①情報収集とチームプレイの基本	アセスメントとは	1 基本的な情報収集と記録等の共有	演習 「知ることから始めよう～根拠を持って支援する～」 情報収集とチームプレイの基本(1)	アセスメントとは	
			情報の入手とその方法			情報の入手とその方法	
			記録とそのまとめ方と情報共有		演習 「お互いに共有しよう～記録と情報共有～」 情報収集とチームプレイの基本(2)	記録とそのまとめ方と情報共有	
150	2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	②固有のコミュニケーション	コミュニケーションの理解と表出	演習 「わかりにくいんです～伝わりにくさを体験しよう～」 「やりやすくする～整えられた環境での活動～」 固有のコミュニケーション		コミュニケーションの理解と表出	意味の分からない言葉での指示 視覚と聴覚で違う情報 分かりにくい提示
			グループ討議／まとめ		グループ討議・まとめ		
			様々なコミュニケーション方法		本人に伝わりやすい環境と活動		
150	3 行動障害の背景にある特性の理解	③行動障害の背景にあるもの	感覚・知覚の特異性と障害特性	演習 「私たちが困っていること～感覚の違いを体験しよう～」 行動障害の背景にあるもの(1)	感覚・知覚の特異性と障害特性	作業(視覚的な手がかりのあり・なし)	
			行動障害を理解する冰山モデル			作業(軍手をはめて)	
			グループ討議／まとめ	演習 「本当の理由を考えよう～冰山モデルで考える～」 行動障害の背景にあるもの(2)	騒がしい環境での聞き取り		
行動障害を理解する冰山モデル		狭い視野での活動					
720				60	講義 「ひとりで悩まないで～支援者ケアの大切さ～」		

780「ひとりで悩まないで～支援者ケアの大切さ～」(60分)はオリジナルの内容であるため、研修時間数もその分長くなっています。